

鴻池運輸、JR貨物の開発中物流施設を賃借

Edited By LogisticsToday On 2018/12/13



日本貨物鉄道（JR貨物）は13日、鴻池運輸と東京貨物ターミナル駅で開発中の「東京レールゲートWEST」で第1号となる賃貸借予約契約（8400平方メートル）を締結した、と発表した。

東京レールゲートWESTは、JR貨物初のマルチテナント型物流施設で、9月に着工、2020年2月の竣工に向けて工事を進めている。賃貸面積は4万3000平方メートルで、陸・海・空の物流結節点に位置し、免震構造、72時間対応非常用発電機を備えたモダシフトの拠点として活用できる。



22年8月竣工予定の「東京レールゲートEAST」（賃貸面積14万8000平方メートル）と2棟で東京ベイエリア最大の物流施設となる。

■「東京レールゲートWEST」概要

所在地：東京都品川区八潮3（東京貨物ターミナル駅構内）

竣工：2020年2月（予定）

賃貸床面積：4万3291平方メートル（1万3095坪）

構造・階層：PC造・地上7階建て（倉庫2-6階）

BCP：免震構造・72時間対応非常用発電機

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>
URL to article : <http://www.logi-today.com/332934>
Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.